

やささとまごころを安心と快適性にこめて—

# 総合メディカル ニュース

NO.162

令和6年2月16日発行

## 補聴器の取り扱いを始めました

暦の上では春となり、冷たい空気の中に春の匂いが感じられる季節となりました。

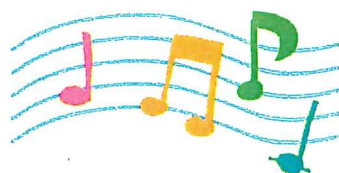
総合メディカルでは、今年の1月から補聴器の取り扱いを始めました。以前に比べて言葉が聞き取りづらいつ感じている方、補聴器を検討している方からのご相談を受け付けております。

ご相談をいただきましたら、弊社営業より訪問の日程調整をいたします。当日は、ご家族様立ち会いの元、株式会社シンコム様の補聴器相談員による聴力測定の上、ご提案、1週間の無料お試しをしていただけます。ご自宅や施設などいつもの環境でゆっくりと相談・お試しが可能です。相談もお試し機の貸し出しも無料です。

年齢を重ねると、耳が遠くなるのは当たり前のように思えますが、聞こえにくさをそのままにしておくと、難聴が進んでしまうことがあります。難聴になると、聞き取りにくさから言葉の解釈が上手く行かないため、脳への情報が少なくなります。また、コミュニケーションに消極的になり、会話の機会が減ってしまうため、認知機能の低下にもつながると言われています。

ご本人様はもちろん、ご家族様からのご相談をお待ちしております。

まずはお気軽にお問い合わせください。



## わたしのつぶやき

2月と言えば、節分の季節ですね。今年も「福は内、鬼は外」とお子さんは豆をまいて楽しまれたと思います。

私も子供が小さい頃、鬼の面を車に忍ばせてつけて帰り、豆をぶつけられた事を思い出します。

先日、外出した時に家に帰ると、家の鍵がポケットの何処を探しても無く、行っていた所に聞いても、駐車場のおじさんに聞いても、歩いた道すがらキョロキョロしても無く、仕方なく家に帰りました。頭に思い浮かぶのは奥さんの怖い顔。「貴方これで3本目でしょ」と家に帰るドアが開け難い！ピンポンを勇気出して鳴らし帰ると、ドアが開き事情説明。「出て行ってからの行動を考えてみなさい」と忠告され、出て行く時に「郵便受けの郵便物を取り出し」と、「アツアツ！」何気なく取り出す時に置いてしまったみたいでした。

この時、「福は内、鬼は外！」を思い出し、不届きにも奥さんの顔を眺めてしまいました。



やささとまごころを安心と快適性にこめて  
**総合メディカル株式会社**

本社 TEL.072-723-9121  
豊中営業所 TEL.06-4865-3077

(協力企業 株式会社あいであい)

